

● 須々万中だより

第4号 令和6年7月18日 周南市須々万本郷 10362 番地の 5 TEL 0834-88-0021

1学期を振り返ろう ― 須々万中学校は、「さらに一歩」を踏み出しますー

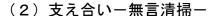
校長 河 辺 哲 也

ふるさとを愛し、支え合いながら、新しい時代に挑戦できる生徒の育成

須々万中学校には、学校教育目標があります。これは、日々の教 育活動をとおして、どんな生徒を育てたいのか、という私たちの目 標です。上の言葉が、須々万中学校の学校教育目標です。キーワー ドは、「ふるさと愛」「支え合い」「挑戦」です。4月から四ヶ月 間、どのような取組をしてきたか、振り返りたいと思います。

(1) ふるさと愛

須々万中学校の生徒一人一人は、進学・就職によって、この地域 から離れても、いつかこの地域に帰ってきてほしい、そして、地域 <生徒参加の学校運営協議会> の担い手として活躍してほしいと考えています。そこで、昨年の学校運営協議会から、地域の委員 さんと生徒(生徒会役員)が話し合い、地域に対する生徒の思いを「形にする」取組を行っていま す。(右上写真)今年度は「学び一生きる力を高めよう」というテーマで生徒会から提案し、地域の 方と協議しました。小学校の「寺子屋学習」や地域清掃、地域行事へのボランティア、運動会、文 化祭等、「学び」をとおして地域の方と関わりながら、生きる力を高めていきます。



学ぶ場所には、人が集います。当然活動するので、教室や廊下、 階段、トイレ等は汚れます。そこをきれいにする。その繰り返しが、 「ともに生活する」ということです。この学ぶ場を、「みんなでき れいにしよう。」「おしゃべりをせず、黙って取り組もう」という ことを全校生徒が意識して取り組んでいます。支え合う形の一つで す。(右写真)

(3)挑戦

挑戦とは、「自分から、チャレンジする」ことです。そこには、 「小さな勇気」が求められます。今年度の生徒会スローガン「響生 (きょうせい)」には、「お互いのよさを出し合い、響かせ、さら によりよい集団になろう」という思いが込められています。この思 いを形にする挑戦なくして、スローガンは実現できません。先日の 生徒総会では、「学年の縦の関係をさらに深めるにはどうしたらよ いか」というテーマで全校生徒が協議しました。 (右写真) 私は、こ



の「さらに」という言葉に、「現状には満足せず、一歩踏み出そう」という気持ちを感じます。ま さしく、生徒会としての挑戦です。すばらしいですね。須々万中学校は、さらに一歩前進します。